

## 2023(令和4年度)年度3月委員会

### 1. 報告

1. 会長 :
2. 総務部 : 令和5年度委員配置について、総会(4/25)、案内状送付、リハーサル(4/18 13時～)、地域懇談会まとめ(2/5)、活動費について
3. 地域交流部 : 本天沼集会所まつり総括、アンケートについて
4. 事業企画部 : まちはく(3/12)について
5. 広報部 : わたしのおぎくぼ、活動報告(わたしのおぎくぼ22号)について
6. 道の愛称p : 道の愛称委員会への名称変更について
7. 荻窪の記憶p : 総集編 荻窪の記憶、発刊記念シンポジウムと地域懇談会(7/8)について
8. 事務局 : 予算執行状況表(3/13現在)、センター改修意見交換会について
9. その他 :

### 2. 協議

1. (会長)
2. (総務) 次年度総会(議事次第、議案)
3. (地交)
4. (事企)
5. (広報)
6. (事務局)

### 3. 事務局から

### 4. その他

### 配布資料

1. 4月、5月予定表
2. (会長) 3月役員会記録
3. (総務) 令和5年度委員配置について
4. (総務) 総会 議事次第
5. (総務) 総会 議案
6. (総務) 総会案内状、出欠票、送付先
7. (総務) 地域懇談会まとめについて
8. (総務) 活動費について
9. (地交) 本天沼集会所まつり総括について
10. (地交) 本天沼集会所まつりアンケートについて
11. (事企・広報) 総集編 荻窪の記憶冊子 目次
12. (会長) 協議会検討会 まとめの素案
13. (事務局) 予算執行状況表(3/13現在)
14. (事務局) センター改修意見交換会について

		午前	昼休み	午後
1	土			
2	日			
3	月			
4	火	部会10:00～ 第1・2集会室		
5	水			
6	木			
7	金			
8	土			
9	日			
10	月	(休館日)		
11	火	部会10:00～ 会計監査 11:00～ 第1・2集会室		
12	水			
13	木			
14	金			<事業企画部>香取 ハーモニーを楽しむヴォイストレー ニング① 講師:安藤操 第1・2集 会室 13:30～15:30 計4回
15	土			
16	日			
17	月			
18	火	部会10:00～ 第1・2集会室		<総務部>杉原 総会リハーサル 13:00～ 第4・5集会室
19	水			<総務部>杉原 役員会 15:00～ 打合せ室
20	木	(館内整理日)		
21	金	◎「区広報紙」5/15号校正日予定		<事業企画部>弘中 善福寺池の四季 新緑の木々と草花 第4回 講師:星野義延、星野順子 善福寺公園上の池ボート乗り場前 13:30分集合
22	土			
23	日			
24	月	(休館日)		
25	火	総会10:00～ 感謝状贈呈式11:00～ 第1・2集会室		<総務部>杉原 委員会 13:00～ 第1・2集会室 部会15:00～ 第1・2集会室
26	水			
27	木			
28	金			<事業企画部>香取 ハーモニーを楽しむヴォイストレー ニング② 講師:安藤操 第1・2集 会室 13:30分～15:30 計4回
29	土	昭和の日		
30	日			
		午前	昼休み	午後

資料 1

2023年5月予定

		午前	昼休み	午後
1	月			
2	火	部会休み		
3	水	憲法記念日		
4	木	みどりの日		
5	金	こどもの日		
6	土			
7	日			
8	月	(休館日)		
9	火	部会10:00～ 第1・2集会室		
10	水			
11	木			
12	金			<事業企画部>香取 ハーモニーを楽しむヴォイストレー ニング③ 講師：安藤操 第1・2集 会室 13:30分～15:30 計4回
13	土			
14	日			
15	月			
16	火	部会10:00～ 第1・2集会室		
17	水			
18	木			
19	金			<事業企画部>香取 ハーモニーを楽しむヴォイストレー ニング④ 講師：安藤操 第1・2集 会室 13:30分～15:30 計4回
20	土	(館内整理日)		
21	日			
22	月	(休館日)		
23	火	部会10:00～ 第1・2集会室		<総務部>杉原 役員会 13:00～ 打合せ室
24	水	◎「区広報紙」4/15号校正日予定		
25	木			
26	金			<事業企画部>熊谷 正しく学ぼう！ラジオ体操① 講 師：銚立和子 体育室 10:00～
27	土			<事業企画部>香取 季節の草花の寄せ植え(洋風) 講 師：吉野華恵 工芸室 13:30～
28	日			
29	月			
30	火	部会10:00～ 第1・2集会室 広報紙「わたしのおぎくぼ」No. 363 6月7月号発行配布		<総務部>杉原 委員会 13:00～ 第1・2集会室
31	水			
		午前	昼休み	午後

# 2022（令和4年度）年度3月役員会記録

資料 2

(3/16) 文責：茂木

日時：2023年3月14日（火）13時～14時30分

場所：打合わせ室

出席者：茂木会長（記録）、萬副会長・地域交流部長、恵羅副会長・事業企画部長、横尾広報部長、船津総務部長；杉原次期総務部長、杉浦次期地域交流部長、熊谷次期事業企画部長、西村次期広報部長；吉川事務局長、岩井事務局員、鈴木事務局員

## 1. 報告

1. 会長：特段なし
2. 総務部：令和5年度委員配置について（配布資料の通り）、総会（4/25）議案・案内状送付・リハーサル（4/18 13時～）、地域懇談会まとめ（2/5）（適宜修正へ）、活動費（委員各位の協力を得て、ほぼ軟着陸が可能に）
3. 地域交流部：本天沼集会所まつり総括、アンケートよりの報告
4. 事業企画部：「まちはく」（3/12）参加報告（他の参加団体の印象、協議会活動との対比論など。「まちはく」で協議会を知り、可能であれば委員になりたいという照会が後日事務局にあり）
5. 広報部：「わたしのおぎくぼ」No.362 発刊（3/14）、活動報告（わたしのおぎくぼ 22号）は4/18納品予定。
6. 道の愛称p：この活動の意義は残したいところから、新年度から「委員会」として残す。
7. 荻窪の記憶p：総集編 荻窪の記憶、発刊記念シンポジウム（7/8）と地域懇談会（荻窪の発展と変貌をテーマに）をリンクするなど検討中
8. 事務局：予算執行状況表（3/13 現在）（一般経費も流用を経て軟着陸）、センター改修意見交換会のその後を受けて、要望形式に修文して会長名で提出予定。
9. その他：

## 2. 協議

1. （会長）
  2. （総務）次年度総会（議事次第、議案）今後適宜修正、追加を行うことなど概要を決定。
  3. （地交）
  4. （事企）
  5. （広報）
  6. （事務局）
3. 事務局から
4. その他

## 配布資料

1. 4月、5月予定表
2. （総務）令和5年度委員配置について

3. (総務) 総会議案書
4. (総務) 総会 議案
5. (総務) 総会案内状、出欠票、送付先
6. (総務) 地域懇談会まとめについて
7. (総務) 活動費について
8. (地交) 本天沼集会所まつり総括について
9. (地交) 本天沼集会所まつりアンケートについて
10. (事企・広報) 総集編 荻窪の記憶冊子 目次
11. (広報) わたしのおぎくぼ No.362 (4月5月号)
12. (広報) 活動報告 (わたしのおぎくぼ 22号)
13. (広報) ホームページ
14. (事務局) 予算執行状況表 (3/13 現在)
15. (事務局) 荻窪地域区民センターの大規模改修工事に際しての代替施設について

以上

R5.3.22

	氏名	住所	推薦団体	配置部
1	中島 圭子	宮前3丁目	公募	地域交流部
2	三谷 啓子	上萩1丁目	萩窪白山親和会	広報部
3	平沢 昌子	萩窪1丁目	公募	地域交流部
4	大石 正明	萩窪3丁目	公募	広報部
5	山中 靖之	南萩窪1丁目	萩窪川南共栄会	事業企画部
6	武山 尚道	清水1丁目	公募	地域交流部
7	三原 紀久恵	萩窪5丁目	東京税理士会萩窪支部	監事
8	竹田 かおり	萩窪2丁目	公募	事業企画部
9	西島 肇	萩窪4丁目	公募	地域交流部

上記により、委員配置は、下記のとおりとなる。(24名)

会長は、惠羅委員

監事は、桑山委員・三原委員

総務部は、杉原委員・船津委員・上田委員

地域交流部は、杉浦委員・小野委員・本田委員・中島委員・平沢委員・武山委員・西島委員

事業企画部は、熊谷委員・香取委員・堀川委員・菊野委員・弘中委員・山中委員・竹田委員

広報部は、西村委員・伊藤久美子委員・三谷委員・大石委員

## 令和5年度定時総会 議事次第

令和5年4月25日 午前10時

於 荻窪地域区民センター第1・第2会議室

1. 開会の辞

2. 会長挨拶

3. 議長選出

4. 議事

(1)議事録署名人指名

(2)議案審議

第1号議案 令和4年度事業報告承認の件

第2号議案 令和4年度事業会計収支決算報告及び会計監査報告承認の件

第3号議案 令和5年度事業計画承認の件

第4号議案 令和5年度事業会計収支予算承認の件

第5号議案 新任委員承認の件

(3)議事終了 議長退任

5. 閉会の辞

令和 5 年 度

# 総 会 議 案

日 時 : 令和 5 年 4 月 2 5 日 (火) 午前 1 0 時

会 場 : 荻窪地域区民センター 2 階 第 1 ・ 2 集会室

荻窪地域区民センター協議会



# 目 次

第1号議案	令和4年度 事業報告	1
①	概要	2
②	各種活動のまとめ	3
③	各部報告	
	総務部	4
	地域交流部	5
	事業企画部	7
	広報部	10
第2号議案	令和4年度 事業会計収支決算報告	11
第2号議案	会計監査報告	13
第3号議案	令和5年度 事業計画(案)	14
①	概要	14
②	各部計画(案)	14
第4号議案	令和5年度 収支予算(案)	18
第5号議案	委員の承認(案)「新委員紹介」	20
(参考資料)	委員名簿	

# 第 1 号 議 案

## 令和 4 年度 事業報告

### ① 概 要

令和 4 年度には第 7 波の新型コロナウイルス感染症拡大がありましたが、協議会の活動としては、感染防止対策を徹底したうえで、ほぼ計画どおりの実施を図ることができました。

主要なイベントの実施となる「センター祭り」、「さいえんす縁日」、「アート展」、「マルシェ&ハロウィン子どもまつり」、「本天沼集会所まつり」などを状況に対応すべく、相当の工夫をほどこして実施、お蔭様で好評を得ることができました。このほか「防災フォーラム」も継続開催、「地域懇談会」も今年度は開催することができました。

また講座、講演会、コンサートなど継続したプログラムに加え、日本と関わりの深い海外のインドネシア社会・文化の紹介、食のプログラムなどを新たに加え実施いたしました。

今年度よりホームページからの参加申込みシステムを本格化した結果、応募総数が増加し、かつ、全体の 3 分の 2 を占める程になりました。

「防災フォーラム」は、テーマを「障害者と考える防災」として実施、多様性を認めあうべき地域に向けてひとつの提案になったと思っております。前年度はコロナ第 6 波のため延期をせざるを得なかった「地域懇談会」を何とか開催に漕ぎつけることができました。

当協議会の 40 周年記念事業として始まった『荻窪の記憶』シリーズですが、年度末には総集編となる冊子を発行を準備、パネル展示をセンター内と杉並郷土博物館分館で開催することができました。

近い将来の課題として、令和 6 年度から 7 年度にかけて荻窪地域区民センターの大規模改修工事が予定されますが、担当部局との対話を踏まえ工事期間中の対応に関する要望を伝えました。そのため、協議会内でまずは協議会の役割や事業遂行体制の見つめ直しのため検討会をもちました。これは将来の協議会活動を考える基礎になるものです。

なお協議会委員の体制ですが、年度末には 22 名となっております。

以下に、各部の活動状況の詳細を報告いたします。

#### 「総務部」

前年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止となった地域懇談会を、今年度は2月に開催することができました。

委員向けの館内研修は、防災フォーラムに向けて、杉並区障害者団体連合の方に講演をお願いしました。

また館外研修は、コロナ禍の波の間を縫って12月に「東京都庭園美術館」を見学しました。

恒例の近隣清掃「クリーン大作戦」は、荻外荘通りの清掃活動を行いました。

住民の集いの地域交流会「こみゆに亭カフェ」は、阿佐ヶ谷在住のジャズシンガーを招き、歌とトークの楽しいふれあいの場となりました。募集人数はコロナ禍前の三分の一程度にし、参加者を25名に制限をして実施しました

#### 「地域交流部」

令和4年度は、長引く新型コロナの影響から開催内容に制限はありましたが、計画した5つのイベント（令和4年、6/5 センター祭り、9/24,25 アート展、10/30 マルシェ&ハロウィン子どもまつり、11/6 地域ふれあいアフタヌーンコンサート、令和5年、2/26 本天沼集会所まつり）をすべて実施することができました。（詳細：地域交流部、集団事業および協働事業）

各イベントは従来から来場者の拡大を目指していますが、10月実施の「マルシェ&ハロウィン子どもまつり」は、昨年唯一実施したイベントの内容をベースに、子どもたちの学びと遊びにスポットを当て、親子でセンターに集いたくなるよう企画しました。2時間30分の開催時間で500名が来場いただき大変な賑わいのイベントとなりました。

また、このまつりには、都立荻窪高校の生徒会から5名がボランティアとして手伝いに来ていただき、区民との触れ合いを通じた社会活動経験の場ともなりました。

一方、コロナの感染防止の対策として、水分補給を除き館内は飲食禁止で実施しました。従来から祭りでの飲食を楽しみにいていた方の、昼食帰宅後の再来館がなかったためか、午後からは来場者の伸びを欠きました。

#### 「事業企画部」

令和4年度も新型コロナの影響下での活動となり、各講座では教室の収容能力の30～50%程度に募集定員を設定し、開催時に当たっては感染防止対策に万全を期しました。とはいえ、昨年度よりは感染症への警戒も徐々に緩めることができ、開催講座・イベントの定員（総数 令和3年度414、令和4年度676）、参加人数（延べ参加数 昨年度1,062、今年度1,365）ともに増加しました。講座・イベント開催数は27で昨年の25より微増です。

令和4年度も、リズム&ストレッチ、秋を楽しむ木の実工作、荻窪寄席などの定評ある講座に加えて、いくつかの特徴ある新たな企画がありました。多文化共生を指向した協働事業「インドネシアを楽しもう」、地域への関心を促す野外講座「善福寺池の四季」4回シリーズ、荻窪の食文化の一端を紹介する「フランス料理講座」、「大人のワイン講座」などでいずれも好評でした。区民の皆様の多様な学習への要望に応えられるよう、今後も新たな視点での講座を鋭意企画していくきっかけとなったものと捉えています。

また、3年ぶりに「さいえんす縁日」が復活し、多くの児童と若い世代の方々に参加して頂きました。

昨年まで西荻地域区民センター協議会と協働開催していた「防災フォーラム」ですが、諸般の事情から、令和4年度は当センター協議会単独での開催となりました。独自企画の利点を生かし、「障害者と考える地域の防災」というこれまでとは視点を変えたテーマを掲げ、関連諸団体、自治会のご協力を得て貴重な会を持つことができました。

荻窪地域の近代史を資料や写真と共に繙く企画として、大変好評をいただいていた「荻窪の記憶」プロジェクトは、ひとまず当協議会管轄のすべての地域を回すことが完了致しました。2016、17年に6回の講座、17～令和5年にかけて5回のパネル展示、3冊の小冊子の発刊を行ってきました。これまでの成果を冊子「総集版 荻窪の記憶」にまとめました。（発刊は令和5年4月予定）

杉並区制90周年事業の一つとして、「原水禁運動パネル展」が当区民センターロビーにて12月上旬の一週間にわたり開催されました。

#### 「広報部」

広報紙「わたしのおぎくぼ」を計画通り年6回発行しました。ホームページは事業企画部と連携し、講座などの申し込みをホームページからも出来るように改め、令和4年4月から運用を開始しましたが、大きなトラブルもなく、順調にアクセスを伸ばしています。

令和4年度は、隔年発行の「活動報告書」の発行年度にあたり、令和3年度・4年度の協議会の活動をとりまとめ、「活動報告22号」を年度末に発行しました。

また、「荻窪の記憶」プロジェクトの支援を行い、プロジェクト活動の大きなマイルストーンとなる冊子「総集版 荻窪の記憶」の編集・発行に携わりました。

## ②各部事業の詳細

### [総務部]

名称	開催日	内容
総会	4月26日(火)	町会、自治会、学校支援本部、ケア24など参加
会計監査	4月12日(火) 10月18日(火)	令和3年度 決算監査 令和4年度 上半期監査
委員研修 (館内)  (館外)	9月13日(火)  12月15日(火)	「障害によって災害時の対応はどう違うのか」 講師：高橋 博氏 (杉並区障害者団体連合会) 「東京都庭園美術館」見学
近隣清掃 クリーン大作戦	9月21日(火)	荻外荘通りの清掃作業
地域懇談会	2月5日(日)	「ふれあいを深めるには」講演→討議 司会：中島篤氏 (社会福祉協議会・地域支援課) 講師：秋山成子氏(まちなかコミュニティ西荻南) 講師：稲葉文子氏(子育てきずなサロンぐーちょきぱー)
地域交流会 「こみゆに亭カフェ」	8月28日(日)	「歌とおしゃべりでつながろう」 ジャズシンガー 小田陽子氏
役員会・委員会	毎月	毎月開催の役員会及び委員会資料の作成、議事録作成
経理業務	随時	講座・講演会、お祭りなど費用支出の管理、予算執行全体の管理等

[地域交流部] 集団事業

事業名	開催月日	内容
第44回 センター祭り	6月5日	<p>[センター祭りが戻ってきました!]をテーマに実施 アウトドア： 苗木配布：区緑化事業「苗木で募金」17,158円寄付 杉並産野菜販売：JAとタイアップ 4地区6生産者出荷 花販売：生産者出店 1F,舞台：7グループ（和太鼓、ソーラン節、お囃子・獅子舞、江戸落語、出前講座、日本舞踊、ヒップホップダンス） 廊下：3グループ（祭りと動物関連写真展示） 2F、体験コーナー 宇宙空間探索、似顔絵、発電体験、環境保全、栄養相談、消費者センター、模擬消火、健康測定 *「宇宙空間探索」では初めて申込を往復はがきとWEBで実施（葉書3、WEB110） 西田小PTA応援：10名（AM5,PM5） 来場者：約900名</p>
第44回 アート展	9月24、25日	<p>コロナ前は毎年2月に開催、今年度は芸術の秋に開催 個人出展：52作品（油絵、水彩画、水墨画、写真、陶芸、オブジェ類等） グループ：10グループ（絵手紙、絵画、表装、陶芸、写真、ガラス絵、等） 学校関係：4校（西田小、杏掛小、天沼中、松溪中＋エベレスト） 特別展示：高校シリーズ第1弾 都立荻窪高校美術部 西田小PTA応援7名（AM3,PM4） 来場者：約500名</p>
マルシェ&ハロウィン子どもまつり	10月30日	<p>昨年の荻窪センター祭りの規模を縮小して実施した内容を基礎に、今年初めて主たる来場者が「子供を連れて家族でセンターに集っていただく」ことをねらい実施 ・マルシェ： 7ブース（綿菓子、ポップコーン、和菓子、クッキー、パ</p>

		<p>ン、飲料、野菜)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハロウィン： <ul style="list-style-type: none"> <li>特設会場設置 96家族写真撮影</li> </ul> </li> <li>・3歳未満児子育て支援ホットサロンに協賛： <ul style="list-style-type: none"> <li>33組の親子来場参加</li> </ul> </li> <li>・苗木配布 150本 緑化事業への募金：20,952円</li> <li>・野菜直売：7地区、11生産者出荷に拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>荻窪高校生徒会のボランティア経験 *前記述</li> </ul> </li> </ul> <p>来場者：約500名(2時間半)</p>
<p>第29回 本天沼集会所 まつり</p>	<p>5年 2月26日</p>	<p>今回は3年ぶりの開催となり、3月3日間近の開催で「ひな祭り」をテーマに、全世代が参加し楽しめる催しを企画 アウトドア： 杉並産野菜直売は3地区(宮前、高井戸、上井草) 5生産者出荷 苗木の配布(100本)はセンター祭りなどと同様 区緑化事業に寄付を募った：募金16,507円</p> <p>1F:販売 綿菓子、ポップコーン、ジュース類</p> <p>2F</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お雛様との写真撮影会 300名を超える来場者</li> <li>・舞台 <ul style="list-style-type: none"> <li>・キーボードピアノ演奏(大人の音楽クラブ)</li> <li>・人形劇(つくしの人形劇) <ul style="list-style-type: none"> <li>天沼に伝わる民話「キツネのあだ討ち」を AM,PMの2回実施</li> </ul> </li> <li>・HIP,HOPダンス</li> </ul> </li> <li>・健康管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>骨強度、血管、肌年齢測定</li> </ul> </li> </ul> <p>来場者：約600名</p>

[地域交流部] 協働事業

事業名	開催月日	内容
第8回 地域ふれあい アフタヌーン コンサート	11月5日	荻窪音楽祭と協働。 8回目の今回はプロによる演奏で、クラシックから軽音楽まで来場者の年齢層を考慮したプログラムで実施 1部：13:30～14:10 「吉久亜紀トリオ」 G線上のアリア、映画音楽メドレー、鮫 他 2部：14:20～15:00 「あきから」 LET IT BE, チャルダッシュ、あきメドレー他 来年もまた聴きたい要望多数 来場者：70名（満席）
松溪中あそび 市	11月5日	中学生が小学生にあそび方、器具の使い方などを指導する形で市が開かれ、多くの子ども達で大変な賑わいとなった。 協議会から3名が参加し、缶バッチの器械操作と、資材の提供を行った

[事業企画部]

No.	開催月日	講座名：講師名・協働先	定員	単位	延べ参加 数(人)
			(名)	(回)	
1	5月14日	野外講座「武蔵野の面影を探して」 松井 和男 氏	15	1	14
2	5月、6月	最高の短編小説を読む 生田 美秋 氏	20	4	67
3	5月28日	季節の草花の寄せ植え（洋風） 吉野 華恵 氏	12	1	12
4	6月	リズム&ストレッチ 後藤 鈴香 氏	20	4	78
5	6月16日	◎善福寺池の四季 第1回初夏 星野 義延 氏、星野 順子 氏	15	1	16



		府中の植物を記録する会			
6	7月18日	◎講談出前授業 「耳なし芳一」 神田 山緑 氏 講談協会 会場：沓掛小学校	—	1	150
7	7月31日	◎さいえんす緑日 くらりか、だがしや楽校、すぎなみシェアリングネイチャーの会、どこ竹 竹とんぼ教室他	200	1	197
8	8月	ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング 安藤 操 氏	20	4	69
9	8月6日	◎インドネシアを楽しもう インドネシア・ヘリテージ・サポーターズ	47	1	49
10	8月13日	◎講談鑑賞会 神田 山緑 氏 講談協会	30	1	22
11	9月15日	アメリカ文学は夫婦愛から始まる 渡辺 信二 氏	20	1	29
12	9月、10月	初心者のための自分の一句を残しましょう 野崎 海芋 氏	20	4	69
13	9月、10月	与謝野晶子と源氏物語 神野藤 昭夫 氏	20	2	40
14	10月6日	◎善福寺池の四季 第2回秋 星野 義延 氏、星野 順子 氏 府中の植物を記録する会	15	1	12
15	10月	いきいき朗読教室 岡 摂子 氏	20	4	75
16	10月23日	◎防災フォーラム2022 杉並区防災課、杉並区障害者連合会、 ほっとけない連（一般社団法人）、 みかんぐみ（NPO）他	—	1	106

17	11月6日	東大アプリで考える首都直下型地震 72時間 田中 淳 氏	40	1	19
18	11月9日	フライパン一つでできるフランス料理講座 天下井 廉人 氏	20	1	18
19	11月、 12月	大人のワイン講座 上田 紀子 氏	20	2	19
20	12月5日	◎荻窪健康サロン in 荻窪地域区民センター 荻窪保健センター	—	1	151
21	12月12日	秋を楽しむ木の実工作 山室 京子 氏	12	1	16
22	12月	◎背骨を鍛えよう！腰痛スッキリ体操 高橋 晃史 氏 背骨コンディショニング協会	20	1	61
23	12月11日	◎荻窪寄席 金原亭馬玉 氏 翁家和助 氏 杉並区中途失聴・難聴者の会	30	1	24
24	2月19日	◎善福寺池の四季 第3回 草木の冬越し 星野 義延 氏、星野 順子 氏 府中の植物を記録する会	30	1	15
25	2月2日	ひらやすかつこが歌う 日本の歌と世界の歌 メゾソプラノ ひらやす かつこ ピアノ 田中美里	30	1	37
26	12月	◎区制90周年記念事業 「原水禁署名運動パネル展」 (12月6日～11日) 杉並区	—	—	—
27	12月、令 和5年1 月、2月、	◎荻窪の記憶V「パネル展示」 展示場所： 荻窪地域区民センター	—	—	—

	3月	(令和4年12月14日~5年1月16日) 郷土博物館分館 (令和5年1月21日~3月19日)			
	合 計 27 回 (◎協働事業 13 回・学級講座 14 回)		676	42	1,365

## [広 報 部]

### 1. 荻窪地域区民センター協議会の広報紙 「わたしのおぎくぼ」の発行

(1) 発行回数 年 6 回 ( A 4 判・4 ページ・カラー印刷 )

(2) 発行部数 No.357～362 各 11,000部

(3) 配布部数 (令和5年3月時点)

① 区立小学校5校・区立中学校4校・都立高校1校 5,335部

② 町会・自治会回覧配布用 2,369部

③ 区及び区関連施設等配布用(交換便) 1,236部

④ 協議会委員による配布 940部

⑤ 常設設置場所・その他配布・ヨビ 1,120部

合計 11,000部

(4) 発行日と (メインの記事) ※印は発刊後に延期または中止

① No.357 6月・7月号 (表紙 おぎくぼセンター祭) 5月31日発行

② No.358 8月・9月号 (表紙 アート展) 7月12日発行

③ No.359 10月・11月号 (表紙 マルシェ、荻窪音楽祭) 9月28日発行

④ No.360 12月・1月号 (表紙 パネル展 荻窪の記憶V) 11月29日発行

⑤ No.361 2月・3月号 (表紙 本天沼集会所まつり) 1月31日発行

⑥ No.362 4月・5月号 (表紙 新会長挨拶・新年度の行事) 3月14日発行

(5) 編集内容

① 協議会の事業 (講座・講演・イベント等) の開催案内、及び結果報告

② 総会など協議会行事の報告、委員募集、地域情報の掲載

③ 連載ものの掲載 (「近隣の高等学校訪問」、「『荻窪の記憶』こぼれ話」)

### 2. 「わたしのおぎくぼ」以外の発行物

● 「総集版荻窪の記憶／エピローグ・発展と変貌」編集・発行準備 3,000部

● 「活動報告22号 (令和3年4月～令和5年3月) 編集・発行 800部

### 3. ホームページの運用

・ ホームページ画面から講座などの受講申込が出来るように改修 4月運用開始  
(申し込み件数の約2/3がホームページ、1/3が往復はがき)

今までHPは一方通行の発信であったが、読者の反応が見えるようになった

・ 今年度も「お知らせ」を活用したタイムリーな情報発信に努めた

お知らせ掲載件数 令和4年度：50件 (令和3年度：50件)

### 4. その他

◆ 年度を通し、広報部員が協議会の全ての行事・事業等取材し、写真撮影を行った

◆ 「荻窪の記憶」P Jに積極参加し、パネル展示 (12/14～1/16 当センターロビー、1/21～3/19 杉並区立郷土博物館分館)、冊子の編集・発行を実施した

## 第 2 号 議 案

### 令和 4 年度 事業会計収支決算報告【差し替えます】

(令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 3 1 日まで)

収入決算額	9,502,212
支出決算額	8,722,772
差引残高	779,440

区への返還金	406,544
差引翌年度繰越金	372,896

#### I. 収 入

(単位 円)

区分	予算額	決算額	差引差額	差額 (うち補助金)	差額 (うち自主財源)
1. 区補助金	8,759,000	8,759,000	0	0	0
①委員活動費	3,924,000	3,924,000	0	0	0
②事業費	4,585,000	4,585,000	0	0	0
③事務局運営費	250,000	250,000	0	0	0
2. 諸収入	437,000	192,748	△244,252	0	△244,252
①事業参加費 収入	174,000	114,500	△59,500	0	△59,500
②自動販売機 手数料収入	0	0	0	0	0
③ 模擬店収入	260,000	40,600	△219,400	0	△219,400
④ 雑収入	3,000	37,648	34,648	0	34,648
3. 繰越金	550,464	550,464	0	0	0
収入合計	9,746,464	9,502,212	△244,252	0	△244,252

## II. 支 出

(単位 円)

(区への返還金) (翌年度繰越金)

	予算額	修正額	修正後 予算額	決算額	差引差額	差額 (うち区 補助金)	差額 (うち自主 財源)
1. 委員活動費	3,924,000		3,924,000	3,556,500	367,500	367,500	0
2. 事業費	5,082,000	0	5,082,000	4,773,277	308,723	39,042	269,681
① 学級講座費	521,000	0	521,000	483,757	37,243	2,243	35,000
② 集団事業費	1,360,000	△532,340	827,660	778,491	49,169	3,529	45,640
② 地域活動事業 費	20,000	0	20,000	545	19,455	19,455	0
③ 懇談会費	230,000	△30,000	200,000	97,129	102,871	0	102,871
⑤ 広報活動費	1,287,000	112,340	1,399,340	1,379,145	20,195	195	20,000
⑤ 総会費	40,000	0	40,000	19,970	20,030	30	20,000
⑥ 保険料	80,000	0	80,000	76,560	3,440	0	3,440
⑦ 事務費	444,000	0	444,000	414,776	29,224	1,224	28,000
⑧ 交通・通信費	40,000	0	40,000	39,650	350	350	0
⑨ 渉外費	30,000	0	30,000	15,604	14,396	3,916	10,480
⑩ 協働事業費	1,030,000	450,000	1,480,000	1,467,650	12,350	8,100	4,250
3. 事務局運営費	300,000	0	300,000	276,836	23,164	2	23,162
4. 委員研修費	100,000	0	100,000	29,098	70,902	0	70,902
5. 諸支出金	140,464	0	140,464	87,061	53,403	0	53,403
6. 予備費	200,000	0	200,000	0	200,000	0	200,000
支出合計	9,746,464	0	9,746,464	8,722,772	1,023,692	406,544	617,148
III. 残高 (収入-支出)	0	0	0	779,440	779,440	406,544	372,896

## 貸 借 対 照 表

令和5年3月31日現在 (単位 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
普通預金	779,440	区への返還金	406,544
		負債合計	406,544
		正味財産の部	
		繰越金	550,464
		当期収支差額	△177,568
		正味財産合計	372,896
資産合計	779,440	負債・正味財産合計	779,440

## 第 2 号 議 案

### 会 計 監 査 報 告

令和4年4月12日(火)

荻窪地域区民センター協議会

会 長 茂木 愛一郎 様

会計監事 伊藤 佳江 

会計監事 桑 山 

荻窪地域区民センター協議会監査規則に基づき、令和3年度 収支決算について関係帳簿・起票書類を監査したところ、いずれも財務規則に準拠し、適正、正確に処理されていることを認めます。

以 上

# 第 3 号 議 案

## 令和 5 年度 事業計画 (案)

### ① 概 要

令和 2 年に始まった新型コロナ感染症の騒ぎも漸く収まりつつありますが、この間、あらゆる社会活動が大きな制約を受け続けました。当協議会も直近では「令和 4 年度事業報告」にあるように、制約の中で工夫を重ね、出来る限りの活動を行ってまいりましたが、十分であったとは言えません。

協議会の会則には「『住民自治』の精神にもとづき住民相互の交流の便宜を図るとともに、良好なコミュニティを形成することにより、住みよいまちづくりを推進すること」を目的として謳っております。この 3 年間で地域社会に閉塞感が定着し、「住民相互の交流」も「コミュニティの形成」も後退してしまったのではないかと惧れます。

新年度は、やや沈滞した感のある地域社会が再生に向けて再出発するのに呼応して、協議会も新たな出発の年としなければなりません。従来の企画の見直しを進め、内容のより一層の充実を図っていきます。

以上を前提に、新年度の活動の特徴は以下の 6 項目となります。

#### 1. 人々とつながり、地域を盛り上げる「イベント」活動：

コロナ禍のもとでも十分な配慮をしたうえでセンター祭などのイベント活動をしてきました。今まで引き継いだ活動を踏まえながら子どもから高齢者まで、地域の方々が楽しみ、学び、ふれあいを感じられる、地域ならではのイベントを企画します。

荻窪センター祭には好評の「マルシェ&ハロウィン」盛り込み、アート展、荻窪音楽祭においても更なる内容の充実を図ります。また、今年度で終了した本沼集会所まつりに代わり、新たに「春の子どもまつり」を当区民センターにて開催します。

様々なイベントを通して地域の皆様に喜んでもらい、地域の住民交流と活性化に最大限寄与することを目指します。



## 2. 地域のネットワークづくり：

「地域懇談会」は町会・自治会やNPO等、多くの団体との意見交換、学習の場であり、協議会活動の点検のためには欠かせない貴重な機会です。来年度も継続して実施いたします。

「防災フォーラム」は、新年度は「家庭防災」というテーマで実施します。

地域交流会「こみゆに亭」は、食を共に作り楽しむことを通じて交流し、コミュニティ形成に役立てようという企画で始まりました。状況に合わせてながら、当初の主旨に近づけるよう工夫を凝らして実施を検討します。また、より自由な形式で企画する交流の場「こみゆに亭カフェ」も継続します。

## 3. 地域発見の機会提供：

好評を頂いた「荻窪の記憶プロジェクト」、野外講座シリーズ「善福寺池の四季」等に代わる、新たな観点からの地域の地理・歴史を紹介する講座を企画します。

平成30年度に始まった「道の愛称プロジェクト」を、あらたに「道の愛称」委員会として継承し、『荻外荘』通りの呼称の普及と名称票管理を継続します。

## 4. 生涯教育に寄与する多彩な講座の提供：

生涯教育へのヒントとなる入門的講座を用意します。教養・文学講座では、「大人の絵本レッスンーすてきに生きるヒント」、「俳句の句会」、健康・スポーツ講座では、「リズム&ストレッチ」、「腰痛スッキリ体操」など、また芸術・芸能関連では、平成□□年から毎年続いている「荻窪寄席」を新年度も継続して開催します。この企画は、中途失聴・難聴者の方々にも楽しんでいただける字幕付き寄席で、他に例を見ないユニークで貴重な催しとの評価をいただいています。毎年好評の「講談鑑賞会」も開催します。

## 5. 幅広い世代へ向けた企画・講座：

現状、講座関係では参加者の年齢が限定的である、との批判に応えるため、例えば「子育て世代」や「熟年層」に関心のあるテーマを募るなどして、様々な世代のニー

ズにあった講座を検討します。また、平日の夜間や週末、休日の時間帯に講座を開催する方法を検討します。

親子連れで参加できる子ども向け「さいえんす縁日」は今年度を上回る 10 以上の出店を計画し、大勢の子どもたちの参加を見込んでいます。毎年好評の「講談出前授業」は荻窪小学校への出前となる予定です。さらに、未就学児、児童向けの企画として、1 で述べたイベントなど、従来好評をいただいている企画をもとに充実させていきます。

#### 6. 広報活動の一層の充実：

隔月発行の広報誌「わたしのおぎくぼ」の充実を図り、町会・自治会、区関連施設、地域内の区立小中学校 9 校および都立荻窪高校の全生徒、および委員による諸施設・店舗への配布を通じて、地域に役立つ情報を提供します。

ホームページの活用によるタイムリーな情報発信をおこない、応募受付システムの円滑な運用に努めます。

協議会の全てのイベント・講座に関わり、広報誌・ホームページを通じ、開催案内→当日の取材・撮影→開催報告まで、情報発信をおこないます。

さて、最後に協議会自身に目を向けると、勤労年齢の変化等による協議会委員数の慢性的不足が続いております。従前からの事業継続を阻害しかねないこの状態を克服するため、委員募集の方法や組織運営の見直しを行い、改善に向けて第一歩を踏み出します。

## 各部計画（案）

部門	事業・活動	項目	回数	開催予定・単位数
総務部	総務活動	定期総会	1回	4月
		会計監査	2回	4月・10月
		役員会・委員会	24回	毎月
		地域懇談会	1回	7月
		館内研修	3回	随時
		館外研修	1回	9月
		地域交流会「こみゆに亭」	1回	未定
		地域交流会「こみゆに亭カフェ」	3回	8月・2月 他
		近隣清掃クリーン大作戦	2回	5月・10月
		総務・会計業務全般、センター改修準備		随時
地域交流部	集団事業	おぎくぼセンター祭り	1回	10月
		アート展	1回	2月
		春の子どもまつり	1回	3月
	協働事業	地域ふれあいコンサート あそび市（松溪中学校）	1回 1回	11月 11月
事業企画部	講座・講演	教養・文学講座	5回	10単位
		医療・健康・スポーツ講座	2回	6単位
その他講座		2回	4単位	
協働事業		講座鑑賞会・講座出前授業・荻窪寄席	14回	21単位
		ラジオ体操・健康講座		
		野外講座		
		防災イベント		
		科学イベント		
国際交流イベント				
広報部	広報活動	広報誌「わたしのおぎくぼ」発行	6回	奇数月発行
		ホームページの運用	随時	受講申込システムの導入
		活動報告書発行		隔年発行
共通活動		七館連絡会	6回	各部1回～2回
		部会	188回	4部×47回
		実行委員会	25回	5実行委員会、各5回

# 第 4 号 議 案

## 令和 5 年度 収支予算 (案)

### I. 収 入

(単位 円)

区 分	令和 5 年度 予算額	令和 5 年度 予算額 (うち補助金)	令和 5 年度 予算額 (うち自主財源)	令和 4 年度 予算額	差 額
1. 区補助金	8,663,000	8,663,000	0	8,672,500	△ 9,500
①委員活動費	3,864,000	3,864,000	0	3,871,500	△ 7,500
②事業費	4,569,000	4,569,000	0	4,551,000	18,000
③事務局運営費	230,000	230,000	0	250,000	△ 20,000
2. 諸収入	387,000	0	387,000	437,000	△ 50,000
①事業参加者収入	157,000	0	157,000	174,000	△ 17,000
②模擬店収入	220,000	0	220,000	260,000	△ 40,000
③雑収入	10,000	0	10,000	3,000	7,000
3. 繰越金	350,000	0	350,000	372,896	△ 22,896
合 計	9,400,000	8,663,000	737,000	9,482,396	△ 82,396

## Ⅱ. 支 出

(単位 円)

区 分	令和5年度 予算額	令和5年度 予算額 (うち補助金)	令和5年度 予算額 (うち自主財源)	令和4年度 予算額	差 額
1. 委員活動費	3,864,000	3,864,000	0	3,871,500	△ 7,500
2. 事業費	4,988,000	4,569,000	419,000	4,970,000	18,000
①学級講座費	361,000	346,000	15,000	491,000	△ 130,000
②集団事業費	1,075,000	875,000	200,000	1,160,000	△ 85,000
③地域活動事業費	10,000	10,000	0	10,000	0
④懇談会費	170,000	50,000	120,000	230,000	△ 60,000
⑤広報活動費	1,459,000	1,449,000	10,000	1,496,000	△ 37,000
⑥総会費	50,000	30,000	20,000	40,000	10,000
⑦保険料	80,000	63,000	17,000	80,000	0
⑧事務費	423,000	423,000	0	416,000	7,000
⑨交通・通信費	40,000	40,000	0	40,000	0
⑩渉外費	30,000	10,000	20,000	30,000	0
⑪協働事業費	1,290,000	1,273,000	17,000	977,000	313,000
3. 事務局運営費	230,000	230,000	0	250,000	△ 20,000
4. 委員研修費	100,000	0	100,000	100,000	0
5. 諸支出金	68,000	0	68,000	140,896	△ 72,896
6. 予備費	150,000	0	150,000	150,000	0
合 計	9,400,000	8,663,000	737,000	9,482,396	△ 82,396

## 第 5 号 議 案 委員の承認 (案)

\* : 空欄は推薦団体なし

### 24 期 委員名簿 (新任)

氏 名	推 薦 団 体*
大石 正明	
竹田 佳保利	
武山 尚道	
中島 圭子	
平沢 昌子	
三谷 啓子	町 会
三原 紀久恵	東京税理士会荻窪支部
山中 靖之	商 店 会
西島 肇	

### 22 期・23 期 委員名簿 (再任)

氏 名	推 薦 団 体*
伊藤 久美子	
上田 昌子	NPO法人すぎなみ栄養と食の会
恵羅 博	町 会
小野 美和子	民生児童委員協議会
香取 真実	
菊野 一雄	
熊谷 伸成	町 会
桑山 務	東京税理士会荻窪支部
杉浦 和子	
杉原 幸一郎	町 会
西村 淳一	一般社団法人すぎなみ文化協会
弘中 義夫	
船津 まさ子	町 会
堀川 秀夫	商 店 会
本田 良夫	一般社団法人すぎなみ文化協会

令和5年3月 吉日

各 位

荻窪地域区民センター協議会  
会 長 茂木 愛一郎

## 総 会 の ご 案 内

早春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当センター協議会の活動にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、令和5年度定期総会を下記のとおり開催いたします。地域の皆様の貴重なご意見を事業に反映させて、よりよい活動を展開していきたいと思っております。

ご多忙とは存じますが、ご出席いただきたくご案内申し上げますとともに、今後とも一層のお力添えを賜わりたく、よろしくお願い申し上げます。

## 記

1：日 時 令和5年4月25日（火） 午前10時～

2：会 場 荻窪地域区民センター 2階 第1・2集会室  
杉並区荻窪 2-34-20

3：議 題

- (1) 令和4年度 事業報告と決算報告について
- (2) 令和5年度 事業計画（案）・収支予算（案）について
- (3) その他

4：その他

- (1) 4月10日（月）までに同封の出欠票にご記入いただき、ご出欠をお知らせいただきますようお願いいたします。
- (2) 今年度も総会終了後の懇親会は、実施いたしませんことを申し添えます。

お問い合わせ

荻窪地域区民センター協議会事務局 TEL 3398-9127

【荻窪地域区民センター協議会事務局 FAX 3398-9128】宛

令和5年度 荻窪地域区民センター協議会 定期総会

## 出欠票

団体名： \_\_\_\_\_

代表者名： \_\_\_\_\_ 役職 \_\_\_\_\_

参加者名： \_\_\_\_\_ 役職 \_\_\_\_\_

[ 出 席 ・ 欠 席 ]

※お手数ですが、出欠についてご記入いただき、郵送又は、FAXにてご返答

くださいますようお願いいたします。



【荻窪地域区民センター協議会事務局 FAX 3398-9128】宛

令和5年度 荻窪地域区民センター協議会 定期総会

## 出欠票

団体名： \_\_\_\_\_

代表者名： \_\_\_\_\_ 役職 \_\_\_\_\_

参加者名： \_\_\_\_\_ 役職 \_\_\_\_\_

[ 出 席 ・ 欠 席 ]

※お手数ですが、出欠についてご記入いただき、交換便又はFAXにて

ご返答くださいますようお願いいたします。

令和5年度定期総会案内発送先

役職者名は2023年4月現在

	根拠	組織・役職	名前(敬称略)	備考	
1 1	町会	7(1)ア 天沼一丁目町会会長代行	茂木 遵子	封書	
2 2		天沼二丁目町会会長	横山 重男	封書	
3 3		天沼二丁目三よし会会長	土屋 光久	封書	
4 4		天沼尚和会会長	鹿野 修二	封書	
5 5		天沼三丁目西町会	中川 晴夫	封書	
6 6		天沼三丁目あかるい町会会長	斎藤 敬子	封書	
7 7		本天沼東町会会長	石原 力	封書	
8 8		本天沼西町会会長	田中 載枝	封書	
9 9		松溪自治会会長	恵羅 博	封書	
10 10		西田自治会会長	原 静夫	封書	
11 11		西田町会会長	堤 一男	封書	
12 12		シャレール菝窪自治会会長代行	水川 怜子	封書	
13 13		菝窪川南町会会長	樽松 幸代	封書	
14 14		菝窪東町会会長	箱田 裕	封書	
15 15		菝窪五丁目町会会長	金子 正壽	封書	
16 16		菝窪中央町会会長	伊藤 節子	封書	
17 17		神明町文化会会長	光田 稔	封書	
18 18		南菝窪会会長	大林 秀雄	封書	
19 19		菝窪白山親和会会長	今村 富美枝	封書	
20 20		清和会会長	二見 清	封書	
21 21		沓掛いづみ会会長	井口 俊夫	封書	
22 22		宮前三丁目会会長	小泉 嘉也	封書	
23 23		西菝窪町会	半田 明子	封書	
24 24	商店会	7(1)エ 日大二高通商店会会長	石川 よし枝	封書	
25 25		天沼協和会会長	内山 清秀	封書	
26 26		天沼新生会会長	若尾 義行	封書	
27 27		菝窪川南共栄会会長	小泉 薫靖	封書	
28 28		菝窪銀座商店会会長	伊與田 康博	封書	
29 29		菝窪寿通り商店会会長	長谷川 昌邦	封書	
30 30		教会通り新栄会会長	田貝 孝	封書	
31 31		タウンセブン会会長	織茂 章則	封書	
32 32		菝窪北口大通り商店街振興組合理事	田村 昭郎	封書	
33 33		八丁通り商店会会長	橋本 元志	封書	
34 34		菝窪白山通り商店会会長	長谷川 昭司	封書	
35 35		菝窪一・二丁目商栄会会長	井原 正厳	封書	
36 36		菝窪北口駅前通り商店会会長	竹橋 吉雄	封書	
37 37		菝窪すずらん通り商盛会会長	田村 護	封書	
38 38		菝窪駅前商店会会長	間 正一	封書	
39 39		菝窪日の出街商店会会長	山下 義智	封書	
40 40		菝窪南駅前通り睦会	野村 浩司	封書	
41 41		菝窪南口仲通り商店会会長	鈴木 正俊	封書	
42 42		青少年育成	7(1)ウ 天沼青少年育成委員会会長	五十嵐 恵子	封書
43 43			菝窪青少年育成委員会会長	水野 珠美	封書

	根拠	組織・役職	名前(敬称略)	備考	
44 44		上荻青少年育成委員会会長	今村 富美枝	封書	
45 45	民生児童委員	7(2)ア 成田地区民生児童委員協議会	横倉 英明	封書	
46 46		荻窪地区民生児童委員協議会	宇田川 純一	封書	
47 47		天沼地区民生児童委員協議会	松岡 昇	封書	
48 48		宮前地区民生児童委員協議会	松本 健樹	封書	
49 49	諸団体他	7(1)オ 女性団体連絡会代表	鳥生 千恵	封書	
50 1		7(1)オ 杉並区障害者団体連合会	会長	交換便	
51 2		7(2)イ 杉並区青少年委員協議会会長	会長	交換便	
52 50		7(1)オ 杉並区いきいきクラブ連合会会長	井上 昭朗	封書	
53 3		7(1)オ 杉並区消費者グループ連絡会	会長	交換便	
54 4		7(2)ウ 杉並区スポーツ推進委員の会	会長	交換便	
55 51			ケア24荻窪		封書
56 52			ケア24清水		封書
57 53			ケア24南荻窪		封書
58 5			杉並区社会福祉協議会		交換便
59 6			ボランティアセンター		交換便
60 7			郷土博物館分館		交換便
61 54			シルバー人材センター会長		封書
62 55			すぎなみ協働プラザ	朝枝 晴美	封書
63 56			NPO法人すぎなみ学びの楽園	柳生 眞子	封書
64 57		7(1)カ 東京税理士会荻窪支部	佐山 政雄	封書	
65 58	7(1)カ NPO法人すぎなみ栄養と食の会	中村 直美	封書		
66 59	7(1)カ すぎなみ文化協会	本田 良夫	封書		
67 60	7(1)カ 宮前二丁目防災会	影山 健次	封書		
68 61	神社	天沼八幡神社 宮司	鶴岡 隆志	封書	
69	都議会議員		早坂 義弘	送らない	
70			小宮 あんり	送らない	
71	区議会議員		わたなべ 友貴	送らない	
72			國崎 たかし	送らない	
73 8	PTA	7(1)イ 沓掛小学校	PTA会長	交換便	
74 9		天沼小学校	PTA会長	交換便	
75 10		桃井第二小学校	桃友会会長	交換便	
76 11		荻窪小学校	PTA会長	交換便	
77 12		西田小学校	PTA会長	交換便	
78 13		天沼中学校	PTA会長	交換便	
79 14		神明中学校	PTA会長	交換便	
80 15		宮前中学校	PTA会長	交換便	
81 16		松溪中学校	PTA会長	交換便	
82 17	学校	沓掛小学校	学校長	交換便	
83 18		天沼小学校	学校長	交換便	
84 19		桃井第二小学校	学校長	交換便	
85 20		荻窪小学校	学校長	交換便	
86 21		西田小学校	学校長	交換便	
87 22		天沼中学校	学校長	交換便	

令和元年度から

	根拠	組織・役職	名前(敬称略)	備考	
88	23	宮前中学校	学校長	交換便	
89	24	松溪中学校	学校長	交換便	
90	25	児童館	天沼児童館	館長	交換便
91	26		本天沼児童館	館長	交換便
92	27		荻窪児童館	館長	交換便
93	28		上荻児童館	館長	交換便
94	29		宮前児童館	館長	交換便
95	30	区役所	杉並区役所 地域課長	交換便	
96	31	他協議会	高井戸地域区民センター協議会	会長	交換便
97	32		西荻地域区民センター協議会	会長	交換便
98	33		阿佐ヶ谷地域区民センター協議会	会長	交換便
99	34		高円寺地域区民センター協議会	会長	交換便
100	35		永福・和泉地域区民センター協議会	会長	交換便
101	36		井草地域区民センター協議会	会長	交換便
102	37	敬老会館	ゆうゆう天沼館	館長	交換便
103	38		ゆうゆう荻窪館	館長	交換便
104	39		ゆうゆう荻窪東館	館長	交換便
105	40		ゆうゆう西田館	館長	交換便
106	41		ゆうゆう桃井館	館長	交換便
107	62	元会長		松吉 賢三	封書
108	63			安楽 泰宏	封書
109	64			小泉 嘉也	封書
110	65			平山 真人	封書
111	66			中澤 一郎	封書
112	67			檜枝 光太郎	封書
113	68	21期		佐野 洋子	封書
114	69			多田 哲雄	封書
115	70			矢島 正信	封書
116	71			石井 徹	封書
117	72			牧絵 正明	封書
118	73			丹羽 健雄	封書
119	74			加藤 俊也	封書
120	75			中田 あつ子	封書
121	76			伊藤 節子	封書
122	77			萩原 伸一	封書
123	78			南 秀郎	封書
124	79	22期		今野 美代子	封書
125	80			中田 悦子	封書
126	81			末次 幸	封書
127	82			高橋 昭浩	封書
128	83			東海林 明	封書

総会参加依頼文送付 124(郵送83、交換41)

議員…送らない

関係各位

## 令和4年度 地域懇談会の実施報告

荻窪地域区民センター協議会  
会長 茂木 愛一郎

平素より、当センター協議会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、今年度の「地域懇談会」は下記の実施次第に従い開催いたしました。グループディスカッションでの討議内容と、当協議会の考え方を別紙の通り取り纏めました。

お寄せ頂きましたご意見を踏まえ、当協議会は活動を行って参りますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 地域懇談会実施次第。

日時 令和5年2月5日(日) 14:00~16:30

場所 荻窪地域区民センター 第1・2及び第4・5集会室

テーマ より親しみやすく、良好なコミュニティ形成に向けた地域区民センター協議会活動に向けて

第一部 講演 14:00~15:20

(i) 区民の思いを形につなげた地域活動実際例について

講師 稲葉 文子(あやこ)氏

子育てきずなサロン ぐーちよきばあ 代表

講師 秋山 成子(ふさこ)氏

まちナカ・コミュニティ西荻みなみ 理事

コーディネーター 中島 篤 氏

社会福祉法人杉並区社会福祉協議会地域支援課 課長

(ii) 荻窪地域区民センター協議会の活動実績について(協議会より報告)

第二部 荻窪地域区民センター協議会の活動の深化に向けて 15:30~16:30

(i) グループディスカッション

テーマ 「活動範囲・内容など」、「ふれあいを深めるには」

(ii) ディスカッションの報告と質疑

#### 2. 第二部のグループディスカッションの内容報告は次葉に記載。

荻窪地域区民センター協議会事務局

〒167-0051 杉並区荻窪 2-34-20

電話：03-3398-9127 FAX：03-3398-9128

メール：[ogikubo-unkyo@fancy.ocn.ne.jp](mailto:ogikubo-unkyo@fancy.ocn.ne.jp)

以 上

## グループディスカッションの纏めと協議会の取り組み

1. グループ討議は、下記のテーマを中心に行った。

(1-a)実施事業 について(手元配布の実施事業のデータを踏まえて)

種類・内容 回数 など

同一内容での複数・連続開催は (当選者を増やす)

(1-b)「ふれあい」の為に 主なテーマ

参加者同士の交流の促進方法

仲間・グループ・夫婦参加

募集方法 ホームページからの申し込みを開始した

参加者の多様化

2. グループ討議で出されたご意見と、そのご意見を踏まえての当協議会の対応

(2-a)実施事業 について

(イ)「協議会の活動目的」

<出されたご意見>

- ・地域に対して何をやりたいのか解らなかったが、いくつか参加するに従いわかってきた。
- ・地域住民のニーズのヒアリングも必要。
- ・住民からの企画提案を募る。

○当協議会の対応・考え方

極力大勢の、そして各層からご参加頂くために、広報活動は精一杯行っています。

広報誌「わたしのおぎくぼ」の発行部数は、各センターの中でも最多。

ホームページでは実施した催しを直ちに掲載、動画での紹介もしています。

また、各事業の実施の際はアンケートを行い、都度ニーズの吸収に努めています。

(ロ)「活動内容」

<出されたご意見>

- ・防災フォーラムの間口だけが広がっている感あり。
- ・参加者の年齢層に偏りがある。

- ・協議会にとっての一つの役割は井戸端会議的なサロンを設営することにあるのではないか。
- ・サロンは必要。
- ・諸団体をつなぐのが協議会の役割。
- ・いろいろな事業を良く続けている。

#### ○当協議会の対応・考え方

地域懇談会にご参加の諸団体をはじめ各種団体をつなぐ役割も協議会のテーマです。防災フォーラムも、地域住民への働きかけもさることながら、各団体にご参加頂くことで個別住民へ伝わるということも期待しての事業展開です。

また、ニーズの多様化に伴い新しい団体が作られ、様々な活動に取り組んでおられます。こういった団体へのアプローチも心がけてゆく必要があると考えています。

参加者の年齢層に高齢者が多いというのは、例えば講座の開催時間帯がウィークデイの昼間であることからとも考えられます。実施者側の体力もあり、多くは困難ですが、週末、夜間での一部開催も検討を進めます。

#### (2-b) 「ふれあい」の為に 主なテーマ

参加者同士の交流の促進方法

仲間・グループ・夫婦での参加

募集方法                      Web 追加した。

参加者の多様化              コミュニティー活動団体との連携

#### <出されたご意見>

- ・団体に声をかけた方が繋がりが良いのでは。
- ・団体を繋ぐのが協議会の役割。
- ・今回のメインテーマは「子育て支援サロン」かとの印象
- ・高齢者対象のものは比較的によくあるが、子育て世代向けの触れ合う場所を作るのも一法では。
- ・ふれあいを広げるにはセンター祭りが効果大。「まつり」の内容をもっと具体的に示す。対象年齢層、どのようなふれあいの場が提供されるのか、等々。
- ・町会やNPOと連携すると活動がより活発になるのでは。(\*16)
- ・子供の参加を活発化。子供による企画検討会は有効では。飲食は子供の参加を促す。
- ・申込みの往復はがきが面倒で消極的だったが、ホームページ申し込みは大変便

利だ。

- ・松浜中学は卒業生、PTA、など繋がりが深く色々と接点が考えられる。
- ・家族プロジェクト実施者側から見て、何か一緒にやれることがないかと思っている。協議会のイベントは大きいのでそのままの協働は難しいが、協議会のイベントを午前に、引き続いて午後に当プロジェクトのイベントに移動するなど。

#### ○当協議会の対応・考え方

会場の人数制限がなくなり、収容数も増すので、ふれあいの場を増やす為、夫婦・仲間での参加も可能になるよう検討を進めます。

子育て世代支援として、マルシェ&ハロウィーン 子供まつりでは、今年初めて”子供を連れて家族での参加”をテーマに親子で楽しむ「木のおもちゃ」遊びを実施、併せて3歳児未満子育て支援ホットラインに協賛事業も実施し、大勢の来場者がありました。

今年度からホームページでの応募を開始しました。応募総数約 1,500 件のうち三分之一がホームページ経由でした。

地域に多くの団体があり多様に活動がなされています。

当協議会としても、これまで新しい視点から諸団体との連携し、展開してきました。引き続きこうした接点を増やし、共に手を携えて実施できる事業を検討してまいります。

以 上



令和4年度 委員活動費執行状況表

資料 8

年間予算額	¥3,871,500
-------	------------

月	当月執行額	執行累計額	予算残額	執行率
4月	¥297,000	¥297,000	¥3,574,500	7.67%
5月	¥367,500	¥664,500	¥3,207,000	17.16%
6月	¥436,500	¥1,101,000	¥2,770,500	28.44%
7月	¥369,000	¥1,470,000	¥2,401,500	37.97%
8月	¥298,500	¥1,768,500	¥2,103,000	45.68%
9月	¥495,000	¥2,263,500	¥1,608,000	58.47%
10月	¥504,000	¥2,767,500	¥1,104,000	71.48%
11月	¥235,000	¥3,002,500	¥869,000	77.55%
12月	¥106,000	¥3,108,500	¥763,000	80.29%
1月	¥165,000	¥3,273,500	¥598,000	84.55%
2月	¥353,000	¥3,626,500	¥245,000	93.67%
3月		¥3,626,500	¥245,000	93.67%

## 第29回本天沼集会所まつり実施結果について

3/22(委員会)

実施：令和5年2月26日(日) 10:00～15:00 天候：快晴 寒風強 来場者：600名 アンケート66名(別紙)

実施体制：35名(委員：17 OB&サポーター：7 センター事務局：4 本天沼事務局：4 野菜3<生産者、区、JA>)

1. 新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となったが、令和5年度下半期(予定)本天沼集会所はいったん閉鎖され、コミュニティフラットに模様替えとなるため、「本天沼集会所まつり」としては、この第29回が最後となった

2. 3/3のひなまつりをテーマに、全世代に楽しんでいただけイベントを企画した結果、

館内飲食禁止にもかかわらず600名の来場者を得、大変な賑わいのお祭りとなった。

「天沼、本天沼の区民の皆様はまつりを待っていました！」

各部門とも大きなトラブルもなくスムーズな祭りを実行できた

3. センター施設係のバックアップにより、協和産業4名にセンターから集会所への必要器資材の運送、現地搬入等サポートいただいた。ひな人形はドンマイ工房が杉原邸ピクアップと現地搬入。

1Fアウトドア

(1) 苗木：100本(ブルーベリー50, オリーブ20, クリスマスローズ10, レモン10, シヤクナゲ10)

募金額：16,497円\*本天沼集会所では初めての募金呼びかけであったが、混乱もなく皆さん協力的であった。

午前中終了予定であったが午後には若干延びた(ブルーベリー若干多かった)

(2) 杉並産野菜直売 売り上げ 40,000円 10品種 180アイテム品揃え 3地区4生産者出荷

午前中終了予定であったが午後には若干延びた。(低農薬、化学肥料の浸透と価格設定のバランス、要理解対策)

\* (1)(2)ともアウトドア寒風、低温下で担当委員は 厳しい活動となった。

また、(1)(2)ともテントを張る予定を強風のため取りやめた。

1F館内

(3) ポップコーン：売上201袋 10,050円

(4) 綿菓子：141袋 7,050円

(5) 飲料63パック 4,410円 ・ポップコーン、綿菓子は午前ピーク時混雑入り口付近まで列生産が追い付かなかた

・袋デザインOK、大きさま当、・ポップコーン、綿菓子の体制は各3名必要2名はきつい

・今後のためポップコーン製作および器材の清掃手順を記す(別記)

\*花販売：JAに依頼し生産者の販売を予定したが、シーズン閑散期品揃え不十分で対応不可能、花販売業者にも交渉したが同じ理由で不可となり中止した。

部門別の実績

課題等

2F	<p>(6) おひなさま 入場者約300名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金屏風、生け花、BGM等おひな様を引き立てるに十分な演出であった。</li> <li>・写真撮影も委員が工夫を凝らし良いサポートができた。・写真撮影に1家族時間を要するので、廊下に待ち行列できたが入口に移した説明書絵を読む時間ができ、不満の声無し</li> </ul> <p>(7) 舞台 入場者約160名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・懸念された3つ舞台の切り換えはスムーズに変更できた</li> <li>・人形劇、ヒップホップダンスは満席（立ち見）・飲食禁止の会場は午後極端に観客が減少する傾向があるが KIDS ヒップホップダンス（31名）を最後に入れた効果から会場は満杯の盛況となった</li> <li>・人形劇（天沼地区に伝わる民話）も席増加要望の人気</li> </ul> <p>(8) 骨強度・血管・肌年齢測定 入場者104名（実数）大人の空間として設営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・午前中は入室できないくらいの混雑</li> <li>・15:00まで途切れることなく希望者が来場</li> <li>・ファミリー来場担当が昼食休憩中に集会所スタッフが2名が応援しスムーズな測定ができた。</li> </ul>
----	--

\* 駐輪場：9:30～12:30まで整理にシルバー活用し整然と駐輪場管理を行いトラブルなどはなかった

別記（ポップコーン製作および器材清掃手順）

<p>ポップコーン 製作手順</p>	<p>①電源を入れて、加熱スイッチ3つのON（5分加熱） ②紙コップにポップコーン（8分目）、食用油（少々）、食塩（少々）を入れる。3カップほど用意</p> <p>③ ②を加熱した鍋に投入、蓋を落とす ④3分ほどではじめ始め、蓋からあふれ出す*溢れるところが見せどころで、子供が喜んでみてくれる</p> <p>⑤はじける音がなくなったら蓋を開け、鍋を斜めに落として中のポップコーンを落とす ⑥下にある程度ポップコーンがたまったら状態にしておく</p>
------------------------	---

<p>器材の清掃</p>	<p>①電源を切り冷やす ②下にたまったものを取り除く ③周りの壁などに屑が付着しているので雑巾でふき取る</p> <p>④下の板など取り外せるものは外してふき取る</p> <p>⑤鍋の蓋、攪拌棒は外してふき取る、拭き取れないところは掃除機で吸い取る</p> <p>⑥鍋はきれいにふき取った後、油を薄く塗る ⑦箱にしまう</p>
--------------	--

アンケート回収枚数：66枚

来場者数：600人

## 1. お祭りはいかがでしたか

- ①面白かった・・・51名(77, 3%)      ②普通・・・17名      ③その他・・・0名

## 2. このイベントをどのように知りましたか(複数回答可)

- ①チラシ・ポスター・・・31名(46, 9%)      ②知人から・・・14名  
② ③広報すぎなみ(区の広報紙)・・・12名  
④わたしのおぎくぼ(荻窪区民センター協議会の広報紙)・・・5名  
⑤その他(町内会掲示板1名・HP1名・家族から2名・通りがかりにて3名)・・・7名

## 3. あなたは次のうち何を楽しまましたか(複数回答可)

- ①苗木配布(募金活動を含む)・・・20名      ②杉並産直野菜・・・12名      ③大人の音楽クラブ・・・7名  
④ひな段飾り(写真撮影を含む)・・・23名(34, 8%)      ⑤人形劇「きつねのあだうち」・・・15名  
⑥各種販売コーナー(綿菓子・ポップコーン・ジュース・お茶)・・・36名(54, 5%)  
⑦骨強度・血管・肌年齢測定・・・4名(アンケートに記載漏れで回答者独自記入数)

## 4. コロナ対策について伺います

- ①安心できた・・・48名(72, 7%)      ②まあまあ安心できた・・・17名      その他・・・0名

## 5. あなたの年代についてお聞きします

- ①0～3歳・・・7人      ②4～6歳・・・4人      ③7～9歳・・・4人      ④10代・・・5人      ⑤20代・・・1人  
⑥30代・・・15人      ⑦40代・・・19人      ⑧50代・・・3人      ⑨60代・・・7人      ⑩70代・・・20人  
⑪80代3人

## 6. お住まいについて

- ①本天沼・・・30人      ②天沼・・・11人      ③清水・・・3人      ④今川・・・0人      ⑤桃井・・・1人  
⑥上荻・・・1人      ⑦下井草・・・4人      井草・・・1人      上井草・・・2人      ⑦阿佐ヶ谷・・・3人  
⑧宮前・・・2人      ⑨荻窪・・・0人      南荻窪・・・2人      ⑩区外・・・新宿区2人・渋谷区1人

\*本天沼、天沼で62%

## 7. 意見・感想

- ・楽しかったです、ありがとうございました
- ・一日楽しかったです、子供も楽しめました、ありがとうございました
- ・懐かしい祭りの雰囲気と現代の子どもたちのダンスを対比しながら見ました、良さが伝わり楽しめました
- ・地域が仲良く計画してくれてうれしいです
- ・スタッフが多すぎる
- ・人形劇の席はもっと増やすべき
- ・以前より展示もの、売店が少なすぎ残念でしたという思いでした

資料 11

はじめに

第一章 大田黒公園周辺一〇〇年の歴史…………… 6

Ⅰ 別荘の時代

Ⅱ 郊外住宅地の誕生

Ⅲ 多彩な住人たち

エピソード

第二章 天沼一〇〇年の歴史…………… 26

Ⅰ 郊外住宅地の誕生と発展

Ⅱ 多彩な住人たち

文化人

あんな人 こんな人

第三章 南萩藩・宮前一〇〇年の歴史…………… 61

Ⅰ 南萩藩

Ⅱ 宮前

Ⅲ ゆかりの人々

第四章 清水・桃井・今川の歴史…………… 89

Ⅰ 井草村の四〇〇年

Ⅱ 清水

Ⅲ 桃井

Ⅳ 今川

Ⅴ ゆかりの人々

第五章 エピソード・発展と変貌…………… 115

Ⅰ 交通と街の発展

Ⅱ 商店街の変遷

Ⅲ 団地の誕生

Ⅳ 戦争と平和への願い

Ⅴ 時を映す川と水路

Ⅵ ゆかりの人々

「萩藩の記憶」写真館…………… 150

町名の由来と今…………… 155

萩藩／天沼／今川／清水／桃井／  
宮前／高井戸／成田西・成田東／  
川南・西田端・西田

おまな引用・参考文献…………… 176

ご協力有難ございました。

スタッフ



クヌギ



ケヤキ



アカマツ



2023.3.22 文責（茂木）

協議会検討会：まとめの素案

A. 地域課作成の「地域区民センター協議会のあり方について」の問題提起は引き続き参考になる。

提案されている3つの視点との関係

視点1 事業内容の方向性

- ① 地域団体とのネットワーク化の推進
- ② 地域課題の解決に向けた事業の採択
- ③ 地域住民の交流の推進

視点2 課題への柔軟な対応

- ① 青少年育成委員会、学校支援本部、ケア24等の地域団体
- ② ICT、SNSの活用

視点3 指定管理者制度導入関係

1-① NPOを始め諸団体とのネットワーク化 引き続き課題

個別団体の成長が進んでいたり、専門の中間支援団体もあるので、無理やりのネットワーク化がなじまない場合があることは留意。引き続き課題ではある。学校関係とのリンクは課題。→「まつり」、「アート展」などで実績があるが、引き続き課題。

1-② 地域課題解決に向けた取り組み

防災フォーラムの実施は、実績として典型的対応。地域課題は地域によって相違があることを見極めたうえでの進展が必要と思われる。

まちづくり系課題への対応は残されている領域かも知れない。

1-③ 地域住民の交流の促進

まつり系のイベント実施を通じ、感得できる需要を感ずるが、住民同士の交流促進をどう考えるのかは本質的問いかけを含む。災害時やまちが抱えるリスクとの関係で確かに重要という認識、啓蒙が必要。

2-① 学校関連での進展

各事業分野で連携の実績はあるが、一層の拡大が課題。広報紙「わたしのおぎくぼ」で公立校における全員配布の実績があり、配布方法などでの工夫と協力の実績がある。

2-② ICT、SNSの活用

協議会内部での管理上の利用、ホームページを通じた募集などで相当の進展をみている。SNS活用については留意すべき点が多々あり、慎重な対応が求められている。

3 指定管理者制度問題

指定管理者制度への認識を深めるよい機会となった。

各協議会が所属するセンターの施設面での差異によって、指定管理者制度が向いている場合と向かない場合とがあることが推測された。同時に杉並区の取り組みは、事業者選定プロセス、協議会との協調関係等で相当の工夫を凝らしていることも判った。荻窪での現行の改修計画を前提にした場合、荻窪に導入される合理的な理由は認められないと思われる。

一方で、協議会の委員へのなり手不足という問題は地合いにある課題であり、協議会機能を補完する外部援助者として、指定管理者制度が位置づけられる余地は残っているが、そういう相手が現われるかどうかはまた別の話である。

## B. 協議会が抱える課題の点検

### (内部的な課題)

#### 1. なり手不足

協議会委員はボランティアであり、活動時間と基盤となる生活基盤があつてのことという前提があつた。→これまでは退職者ないし専業主婦で、意欲のある方それが、高齢になるまで働かざるを得ないような経済・社会情勢によって、最適となる人材プールそのものが小さくなっているとみられること。

仮に委員就任を希望しても、毎週火曜日の10時には集合を原則とするという現行体制での参加を困難に感ずること。その他、事業遂行上、協力を必要とする集合作業が多く参加が難しい場合など、多くの難問を抱えている。

→弾力的な体制、ネット会議等々は要検討。しかし一同に会することの意義を忘れるわけにはいかない。

#### 2. ボランティア組織におけるリーダーシップや組織のあり方

指令、命令によって意思決定をしていく組織ではない。あくまでもメンバーの高い使命感と共感によって支えられ動いている。決定事項に関する委員会決定。これら、すべて理想的な建付けになっているが、これは、すべて「メンバーの能力と自律」にかかっていること。

協議会は、事業を企画し、決定し、実務も同時にこなす組織。現状の事業が複雑になっていることをとらえて、財団、社団やNPO組織にみられるような2層構造への転換を提言する委員もおられた。2層構造とは、決定する理事会（無償）と実務を遂行する事務方（有償）という2層制。

関連しては、慣例化している男女の役割分担も社会的変遷に従っていくべきであろう。

#### 3. 予算管理

経理処理をはじめ庶務事項等を有能な事務局が支えている実態はあるものの、予算管理と組織全体の管理の整合性をとっていく必要があり、特に事業予算に比し、管理の難しい活動費の進捗管理をスムーズに行っていくことが肝要。

※1と2はリンクするところがあり、委員候補となる人材発掘のための不断の広報活動、委員の推薦母体である町会等の推薦団体、小中高の近隣学校との相互共生のリンクづけ（学校長、PTA、学校支援本部、そして生徒児童の関心の対象にもなること）などを要する。→学校事業、地域連携事業への参画などは行っている。

(外部とのリンクに関わる課題)

1. 諸団体、ミッションの是認される NPO などとの交流機会を絶やさず。
2. 区の7協議会は、地域割されているものの事業コンセプト面では競争相手。幸い当局のアレンジによる各部7館会議、そして会長会議がセットされ情報交換の場が設けられている。
3. その他、学問的な意味でも協議会活動の位置づけなどについてアンテナを張っておくこと。

C. 改修期間中の協議会活動のあり方、活動の場の確保に関する議論については、検討会のなかでも議論され、区の担当セクションによる説明会を通じ議論と要望をまとめたものを提出した。

D. 協議会のこれから、何をめざすのか

・これまで：

ふれあいと交流の場、地域課題解決（するため）関係団体・ひとびとのネットワーク化→地域の活性化につなげる という論旨を受けて、各種事業の理由づけを行ってきた。

ここ20年でNPOほか市民的な諸活動は盛んに

NPO等がないころの協議会の役割とは違ってきている筈である。

NPO等と競争しても始まらない→ネットワーク化とは。

※「防災フォーラム」でのテーマ設定はその努力、苦勞をしてきた。

一方、普通の市民・住民との関係が大事ではないかという意見もある。

それではどういうプログラムをつくるか！知恵の出どころでもある。

・最近の地域懇談会から出てきたもの

1. NPO等諸団体とのリンク、ネットワークづくりへの期待、役割づけ
2. 近隣学校とのリンクがもっとあってよい。
3. まちづくり、空き家対策への寄与
4. 地域のサロン、井戸端会議のできるところの提供  
(場所というよりもテーマを)
5. 地域の要望を「企画」として吸い上げ、協議会の事業にする



1. は必ず出てくる意見。
2. これは我々も課題として考えている。
3. まちづくりに特化したNPO、任意団体は多いが、かなり地域性があり、获益はどうなのか、は検討課題。タウンウォッチングなどからトライか。プライベートとの関係もあり、研修・心得を得てから始める必要あり。
4. 「こみゆに亭」、「こみゆに亭カフェ」で試行している。いかにブラッシュアップしていくか。
5. 取り上げ方の方法を考える必要がある。一般公募の形式はとれない。協議会の対応能力を超える。限定的なサークルからの提案をもとにすることか。

・ これからの協議会とは：

例えば、「地域のcommons」のひとつとなること

commonsはもともと、資源と人間・社会との関係性、これを広げて人のつながりを資源と見立て、そこに協働性を育むこと

令和4年度 予算執行状況表【支出】

R5.3.13

区分	当初予算額		返還・振替・流用		予算現額		執行同済額		執行予定額		執行可能額(残高)	
	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1 委員活動費	3,871,500	0	0	0	3,871,500	0	3,626,500	170,000	0	75,000	0	75,000
2 事業費	4,551,000	419,000	0	0	4,551,000	419,000	4,483,754	35,060	2,520	32,186	2,520	143,445
① 学級講座費	476,000	15,000	0	0	476,000	15,000	476,000	8,088	0	0	0	6,912
② センターカレッジ費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 集団事業費	960,000	200,000	▲ 220,000	0	740,000	200,000	721,694	191,791	0	18,306	0	8,209
④ 地域活動事業費	10,000	0	0	0	10,000	0	8,251	0	0	1,749	0	0
⑤ 懇談会費	110,000	120,000	0	0	110,000	120,000	110,000	36,315	2,520	0	2,520	81,165
⑥ 広報活動費	1,486,000	10,000	0	0	1,486,000	10,000	1,483,000	8,681	3,000	0	0	1,319
⑦ 周知記念事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧ 総会費	20,000	20,000	0	0	20,000	20,000	20,000	1,185	0	0	0	18,815
⑨ 保険料	63,000	17,000	0	0	63,000	17,000	39,730	13,200	17,300	5,970	0	3,800
⑩ 横断店運営費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪ 事務費	416,000	0	0	0	416,000	0	410,270	0	3,000	2,730	0	0
⑫ 交通・通信費	40,000	0	0	0	40,000	0	28,003	0	11,760	237	0	0
⑬ 渉外費	10,000	20,000	0	0	10,000	20,000	6,806	0	0	3,194	0	20,000
⑭ 協働事業費	960,000	17,000	220,000	0	1,180,000	17,000	1,180,000	13,775	0	0	0	3,225
3 事務局運営費	250,000	0	0	0	250,000	0	242,240	0	6,987	773	0	0
4 委員研修費	0	100,000	0	0	0	100,000	42,699	0	0	0	0	57,301
5 繰出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 諸支出金	0	140,896	0	0	0	140,896	125,181	0	▲ 50,000	0	▲ 50,000	65,715
7 予備費	0	150,000	0	0	0	150,000	0	0	0	0	0	150,000
計	8,672,500	809,896	0	0	8,672,500	809,896	8,352,494	440,915	212,047	107,959	▲ 47,480	416,461

令和4年度 予算執行状況表【収入】

R5.3.13

区分	当初予算額		振替・流用・返還	予算現額		収入済額		収入予定額 (自主財源)	予算現額と収入額の差額	
	補助金	自主財源		補助金	自主財源	補助金	自主財源		補助金	自主財源
1										
	区補助金	8,672,500	0	8,672,500	8,672,500	0	0	0	0	0
	① 委員活動費	3,871,500	0	3,871,500	3,871,500	0	0	0	0	0
	② 事業費	4,551,000	0	4,551,000	4,551,000	0	0	0	0	0
	③ 事務局運営費	250,000	0	250,000	250,000	0	0	0	0	0
2	諸収入									
	① 事業参加費	437,000	0	437,000	437,000	414,258	414,258	0	▲ 22,742	▲ 22,742
	② 自動販売機手数料	174,000	0	174,000	174,000	214,600	214,600	0	40,600	40,600
	③ 模擬店収入	260,000	0	260,000	260,000	188,910	188,910	0	▲ 71,090	▲ 71,090
	④ 雑収入	3,000	0	3,000	3,000	10,748	10,748	0	7,748	7,748
3	繰入金									
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	繰越金									
		372,896	0	372,896	372,896	372,896	372,896	0	0	0
計		8,672,500	0	8,672,500	8,672,500	809,896	787,154	0	▲ 22,742	▲ 22,742

令和5年2月28日

## 荻窪地域区民センターの大規模改修工事に際しての代替施設について

荻窪地域区民センター協議会

会長 茂木 愛一郎

荻窪地域区民センターは、令和6年11月から大規模改修工事に伴い、令和8年度まで休館となると伺いました。このことより、パートナーシップ協定に基づき、同所を中心に活動を行っている荻窪地域区民センター協議会は、荻窪地域区民センター協議会としては、できるだけ従前並の活動を続けるため、センター休館中の代替施設確保の調整を区に要望致す次第です。

令和4年度に実施した会議、事業を実施する想定で、以下1～4に詳細を述べます。

## 1 協議会自体の活動拠点について

現在、当協議会は荻窪地域区民センターにおいて、協議会事務局室、打合せ室、ボランティア室を、事業活動の拠点として利用しています(活動資料の保管を含む)。お示し頂いた案のとおり、休館期間中には、当協議会の事業拠点を荻窪会議室1階に移す案にて臨むことと致したく、ご高配方よろしくお願い致します。

つきましては、現在の拠点における執務環境(照明、空調、電源コンセント WIFI 設備等)、及び協議会活動に必要な備品(机、椅子、スクリーン、マイク設備等保管し、適時搬出・収納できる倉庫スペース)が荻窪会議室に於ても確保されますようご配慮下さい。

## 2 会議を中心とした事業

荻窪会議室(2階)(洋室、和室)の代替利用をお示し頂いているところですが、個別に要望事項を申し述べます。当協議会の行う会議とその実施のための代替施設案は以下の通りです。

## (1)「総会」

出席者数が60名程度であるため荻窪会議室(2階)では収容不可能です。

候補施設は次の通りです。

第一順位 西荻等の他の地域区民センター

第二順位 コミュニティふらっと本天沼

4年度使用施設	利用人数	想定代替会議室	利用希望
センター1・2・4・5室	60人	他の地域区民センター	午前2回

## (2)他の会議体(協議会(部会、委員会)、内部研修会、会長会、七館会議(各部)など)

いずれも荻窪会議室2階で対応可能です。優先確保をお願いします。

4年度使用施設	利用人数	想定代替施設	利用希望回数
(部会)センター1・2室	23人	荻窪会議室2階	午前48回
(委員会)センター1・2室	23人	荻窪会議室洋室	午後12回
(研修)センター1・2室	23人	荻窪会議室2階	午後
(会長会)センター1・2・3室	25人	荻窪会議室2階	午後
(七館)センター1・2室	20人	荻窪会議室2階	午後

### 3 地域交流事業

#### (1)「地域懇談会」および「地域交流会」

地域懇談会 年1回、地域交流会 年2回、人数規模 各回50人

人数規模から見て、荻窪会議室2階で対応可能ですが、「仲間と触れ合う」という観点から地域性を重視し、他の施設(例:「コミュニティふらっと本天沼」「ゆうゆう荻窪東館」)なども候補となるようご配慮をお願いいたします。

4年度使用施設	利用人数	想定代替施設	利用希望回数
(懇談会)センター1・2・4・5	50人	荻窪会議室2階	午前・午後1回
(交流会)センター1・2・	30人	荻窪会議室2階	午後2回

#### (2)「センター祭り」

事業規模はセンターの建物全館を使用、人数規模 1,000人。

これをそのまま収容可能なスペースの検討は、現状ついていません。

地域交流活動の中心的事業であり、事業実施により地域の方に及ぼす効果が高いこと、人的なネットワークの維持、拡大が必要であることを実感するところ、なんとか継続実施をとの思いは強く、一部他のイベントへの併合も含め、開催規模・内容調整して実施いたしたいと考えております。

有力な候補として、「コミュニティふらっと本天沼全館」が利用できるようご配慮をお願いします。

4年度使用施設	利用人数	想定代替施設	利用希望回数
センター全館(実施・準備)	1,000人	本天沼全館	終日2日

なお、準備などのために下記の施設が複数回必要です。

センター1・2(説明会)	各回23人	荻窪会議室洋室	午後3回
センター1(準備)	各回10人	荻窪会議室洋室	午前又は午後9回

#### (3)「アート展」

参加者(含出展者) 300人 準備を含め終日3日が事業実施に必要です。

「アート展」は、児童・生徒を含む地域の方々の作品の発表の機会です。

一定期間、施設の利用を限定するものであり、他団体との調整のご負担をおかけするところです。展覧会の実施規模の縮小を含め、実施方法などにつき、検討いたしますが、「コミュニティふらっと本天沼全館」の利用ができるようご配慮をお願いします。

4年度使用施設	利用人数	想定代替会議室	利用希望回数
センター1・2階	300人	本天沼全館	終日3日

なお、準備打合せなどのために下記の施設が複数回必要です。

センター1・2(説明会)	各回23人	荻窪会議室洋室	午後3回
センター1(準備打合せ)	各回10人	荻窪会議室洋室	午前又は午後6回

#### (4)「マルシェ&ハロウィーン」、「本天沼集会所まつり」

いずれも参加者500人準備を含め終日2日が事業実施に必要です。

##### 「音楽祭(ふれあいコンサート)」

参加者100人午前・午後のコマが事業実施に必要です。

いずれの事業も地域の方々同志の交流の機会を育み、お互いの触れ合いを深めるためには継続した開催が必要です。

「コミュニティふらっと本天沼」の利用につきご配慮をお願いします。

##### 「マルシェ&ハロウィーン」

4年度使用施設	本番利用人数	想定代替会議室	利用希望回数
センターロビー・1・2室	500人	本天沼全館	終日2日

なお、準備打合せなどのために下記の施設が複数回必要です。

センター1・2(説明会)	各回23人	荻窪会議室洋室	午後3回
センター1(準備打合せ)	各回10人	荻窪会議室洋室	午前又は午後9回

##### 「本天沼集会所まつり」

4年度使用施設	本番利用人数	想定代替会議室	利用希望回数
本天沼全館	600人	本天沼全館	終日2日

なお、準備などのために下記の施設が複数回必要です。

センター1・2(説明会)	各回15人	荻窪会議室洋室	午後3回
センター1(準備打合せ)	各回10人	荻窪会議室洋室	午後6回

##### 「音楽祭(ふれあいコンサート)」

センターロビー	100人	本天沼多目的室	午前・午後1回
---------	------	---------	---------

なお、準備などのために下記の施設が複数回必要です。

センター1・2(説明会)	各回23人	荻窪会議室洋室	午後2回
センター1(準備打合せ)	各回10人	荻窪会議室洋室	午前又は午後3回

## 4. 講座・教室

### (1) 講座形式の事業

「荻窪会議室2階」、「ゆうゆう荻窪東館」、「コミュニティふらっと本天沼会議室」等の利用につきご配慮をお願いします。

4年度使用施設	各回利用人数	想定代替会議室	利用希望回数
センター1・2室(講義)	30人	荻窪会議室など	午後15回
センター1・2室(講談)	50人	荻窪会議室など	午後2回

(2) 講義に加え工作作業を伴う事業

「季節の草花の寄せ植え」「秋を楽しむ木の実工作教室」など

参加人数 50 人/回

「荻窪会議室 2 階」、「コミュニティふらっと本天沼多目的室」の利用につきご配慮をお願いします。

4年度使用施設	各回利用人数	想定代替会議室	利用希望回数
センター工芸室	50 人	荻窪会議室など	午後 15 回

(3) 振動や音などについて配慮が必要な事業

「リズムアンドストレッチ教室」「背骨を整えよう腰痛スッキリ教室」など

参加人数 20～30 人/回 延 200 人

代替施設としては、振動や音などについて配慮し小体育室を利用して実施する事業の為、ある程度の遮音が可能で「コミュニティふらっと本天沼多目的室」の利用につきご配慮をお願いします。

4年度使用施設	各回利用人数	想定代替会議室	利用希望回数
センター小体育室(運動)	30 人	本天沼多目的室	午後 7 回
センター 1・2 室(発声)	30 人	本天沼多目的室	午後 5 回

(4) 「さいえんす縁日」

参加人数 300 人 前日の準備を含め、終日 2 日が事業実施に必要です。

「コミュニティふらっと本天沼全館」の利用をお願いします。

4年度使用施設	本番利用人数	想定代替会議室	利用希望回数
センター 1・2 室・小体育室	300 人	本天沼全館	終日 2 日

なお、準備打合せなどのために下記の施設が必要です。

センター 1・2(説明会)	各回 23 人	荻窪会議室洋室	午後 3 回
センター 1(準備打合せ)	各回 10 人	荻窪会議室洋室	午前又は午後 6 回
センター 1・2 階(海外紹介)	100 人	荻窪会議室 2 階	午前・午後 1 日

(5) 「防災フォーラム」

参加人数 200 人 前日の準備を含め、終日 2 日が事業実施に必要です。

「コミュニティふらっと本天沼全館」の利用につきご配慮ください。

4年度使用施設	本番利用人数	想定代替会議室	利用希望回数
センター全館	200 人	本天沼全館	終日 2 日

なお、準備打合せなどのために下記の施設が複数回必要です。

センター 1・2(説明会)	各回 23 人	荻窪会議室洋室	午後 3 回
センター 1(準備打合せ)	各回 10 人	荻窪会議室洋室	午前又は午後 6 回

(6) 調理機能と飲食を伴う講座

参加人数 各回 60 人 午後 3 回に分けて実施。

「ウェルファームすぎなみ消費者センターの調理室・会議室」

4年度使用施設	各回利用人数	想定代替会議室	利用希望回数
センター調理室	20人	ウェルファームすぎなみ	午後3回

以上、個別事業の形態、特性等を踏まえ代替施設に関する要望を申し述べましたが、全体に共通する事項として、二点の要望をいたします。

第一に、範囲をさらに広げた代替場所の確保の検討についてであります。

具体的には、旧若杉小学校の利用(校庭・体育館)の利用です。利用する為の条件整備などにつきご助力頂ければと思います。その他、公園、公立学校にも当てはまります。

第二は、候補としてお示し頂いた施設の利用方法についてであります。

ご高承の通り、事業の遂行に際しては、出展者、講師の方々のスケジュールを前広に確保する必要があります。

また、地域住民への広宣活動も重要で、事前に十分手立てを講じています。

そのためには施設の利用が確定していることが必須で、(事業内容によっては6ヶ月前)、このリードタイムを置いていただく点にも特段のご配慮をお願いいたします。

## 5 結語

当協議会は、地域区民センター協議会としての役割を認識し、地域の絆の醸成に寄与(する)すべく全員の力を結集し上記諸活動(を)に取り組んで(展開)しています。

これらの事業は地域住民から高い評価と支持を得ていることは申すまでもありませんが、参加諸団体(地域団体、出店者、小中学校、高校などの協力者団体を含む)の熱意に支えられて実現に至っているものばかりです。

事業の継続実施は、これらの人的なネットワークの維持に必須であり、活動の場所の確保が不可欠であり、代替施設につきまして格段のご配慮をお願いする次第です。

区におかれましては、建替等に関し鋭意検討が進行中と拝察いたしますが実施場所の確保は、協議会としての重大関心事ので、ご検討の進捗につきまして、適時ご開示頂けると幸いです。

以上